

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

209号

2019年2月27日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 民意を無視する政府？

沖縄の住民投票でもはっきり結論が出たのに、どうしてこの国は民意を尊重できないのでしょうか。資料さえねつ造するなど様々な問題を見聞きするたびにため息が出ます。

都心低空飛行についても同じです。

このまま反対を無視して着々と（彼らの言い方だと肅々と）愚策を実行する積りなのでしょうか。

横田空域の一部が、この空路のために返還されるということが歓迎するニュアンスで報道されましたが、もちろん全面返還ではなくほんの一部です。横田空域返還とこの問題は全く別に考えねばならないのです。

一部の圧力や経済的理由で、人権を無視した政策を考えつくとは、想像を絶しますが、これだけ腐りきった日本人なら可能なのでしょうか。

○ 「お散歩マップ」配布

改訂版が出来上がり、やっと少しずつお手元に届けられるようになりました。いつも「まちづくりニュース」を読んで下さっている方へ今月から来月のニュースと共にお配りいたします。

経費節約のため、会員や協力者の方達が一部ずつ折りたたんだものです。お知り合いに街を案内なさる時にでもぜひお使いください。

○ 「えねこや」の薦め

調布市民の運動ですが、エネルギーを自家発電でまかなう小屋を作り、トレーラーで移動、イヴェントや会合に使うという取り組みです。常盤台の駐車場などで利用してはいかが？

メール：info@enekoya.com

ホームページ：http://www.enekoya.com

○ TSUTAYA とフェンテの閉店

駅前のビル1階のフェンテ、2階のつたやがそれぞれ3月31日、3月17日をもって閉店するそうです。フェンテは廉価のスーパーの新開店の影響が大きかったと思われますが、深夜も開店していたので、夜遅く帰宅する人には便利だったのです。あとに何が来るのか、興味がありますが、ビル全体が建て直しの計画のようで、上階の住民の殆どはもう引っ越していると大分前から出ていた話でした。

また、ビル全体の建て直しは、南常盤台のよしやでも行われるというもっぱらの噂です。

それぞれどんな店舗が来るのか、関心が持たれますが、ビルの高さも心配です。特にフェンテとつたやの入っているURのアパートの跡地に高層マンションがまた計画されたりしないか、注意していなければなりません。タカラレーベンや線路沿いのマンションのような、街の景観や調和をぶち壊して平気な建物にしてほしくありません。

○ 撮影されている常盤台

先日、何気なく見ていた深田恭子の他愛ないテレビドラマ（火曜10時TBS.初めて恋をした日に読む話）の中で、どこかで見たことがある景色だなと思ったら、常盤台のとある場所でした。

また、児童遊園地の傍を通りかかったら、何か人だかりがして、撮影している様子。野次馬根性で聞いてみると、テレビ朝日の「相棒」で3月13日に放映予定とか。

常盤台は余りミーハーが集まらず、車の通りも少なく、ゴミも落ちていないので、ドラマの撮影に適しているのだろうとWさんの言。

映画やドラマの中で、街並みに見覚えがあったら、常盤台かも知れませんよ。

車の「ご当地ナンバー」

前号で「板橋ナンバー」についての投稿を載せましたが、特に反応はありませんでした。しかし、それは素晴らしい、とか実現が待ち遠しいとかいう声はなく、一方で、都心を板橋ナンバーで走るのちよっと・・・という声が二、三聞こえてきました。

世田谷区も「ご当地ナンバー」を実施したそうですが、実際に世田谷ナンバーに変えた人は少ないそうです。

何のメリットがあるのか定かではありませんが、板橋の名前に引け目を感じるようであれば、板橋区全体のイメージアップを図る方からは無いかと思います。

「緑と文化の板橋」と言っていますが、果たして二つとも板橋区が力を入れているのでしょうか。少なくとも区民は実感していないように思うのです。残念ながら・・・

野良猫の冬越し

朝早く散歩していたら、ある家の玄関先に赤外線ヒーターがついたままのストーブが出ていました。見ると、その先に段ボール箱が2、3個あって、中から猫が顔を出したのです。耳カットのあつちよく見かける野良ネコです。彼は警戒心が強いので直ぐ逃げ出しましたが、全く気にしないで、首だけ出してこちらを見ているネコもいました。家の主の優しさに感じ入りました。火事の心配もちよっとありますが。

常盤台では野良ネコもスズメも太っていて、痩せこけた野良ネコを見たことはありません。

景観市民ネット来訪

二月二十三日（土）の午後、毎月京王線国領で定例会を持っている景観市民全国ネットの皆さんが、ときわ台駅舎改修の様子を見がてら、常盤台に数年ぶりに来られました。駅舎の大谷石や武蔵常盤小径など、東武鉄道の素晴らしい事業に感心していました。

この団体は、国立市に起きていた高層マンション建設に伴う市民運動から発展し、建築紛争だけでなく、環境問題やまちづくり運動など、幅広く活動を続けています。本当に困った住民の駆け込み寺的存在で、幾つもの難問に対処してきました。常盤台の景観を守る会も色々な面で支援を受けてきました。

こういう地味な市民運動は、まだまだ先進国のように根付いておらず、かえって変なレッテルを貼られたりするのが日本の現状なので、ネットの皆さんには頭が下がります。

電柱地中化

板橋区では電柱の地中化実施に向けて、候補路線を募集中と聞き、しゃれ街協議会と常盤台の景観を守る会から、景観重点地区として地中化の要請を出しました。守る会としては二月十二日の期限を二十一日と間違えてしまい、会員の一人が提出していたので辛うじて会からの提出としたいと思っています。

三十一年度に採用される路線はたった二路線ということなので、このペースでは百年経ってもこの電柱の林は無くなりません。災害時には倒れて交通を遮断するでしょう。

常盤台公園のはなづくり

チューリップの芽があちこちから覗いています。スズメの砂浴びにも、ネコのひっかきにも耐えてくれました。冬の寒さや乾燥も心配でした。春の暖かい雨が降れば、チューリップもすくすく伸びていくでしょう。

無事花が咲くまで心配事は絶えません。どうか子ども達に踏まれたり、花泥棒に出会いませんように！

もう盛りは過ぎてしまいましたが、公園にも蠟梅が一本あり、良い香りをただよわせています。蠟梅の名所としては宝登山が東上線沿線で有名です。一度は行ってみることをお勧めします。

常盤台のいくつかの庭の梅が花盛りで、メジロが喜んで飛び回っています。

ウグイスはめっきり姿を見せなくなりましたが、藪がなければ飛んでこないそうです。そつえば公園や駅のロータリーには高い木がありますが、ウグイスの好みそうな藪は住宅地の中に無いようです。

ウグイス招致作戦でも練らねば、あの美しい声を聞くことができないのかもしれないですね。藪のある練馬区向山の人が、朝はウグイスの鳴き声で目を覚ますのだ、と言われたのを羨ましく思いました。

板橋区でも中台のほうでは聞かれるのでしょうか。